

# 地域別・路線別の課題

# 三国・神根・吉永

## 三国

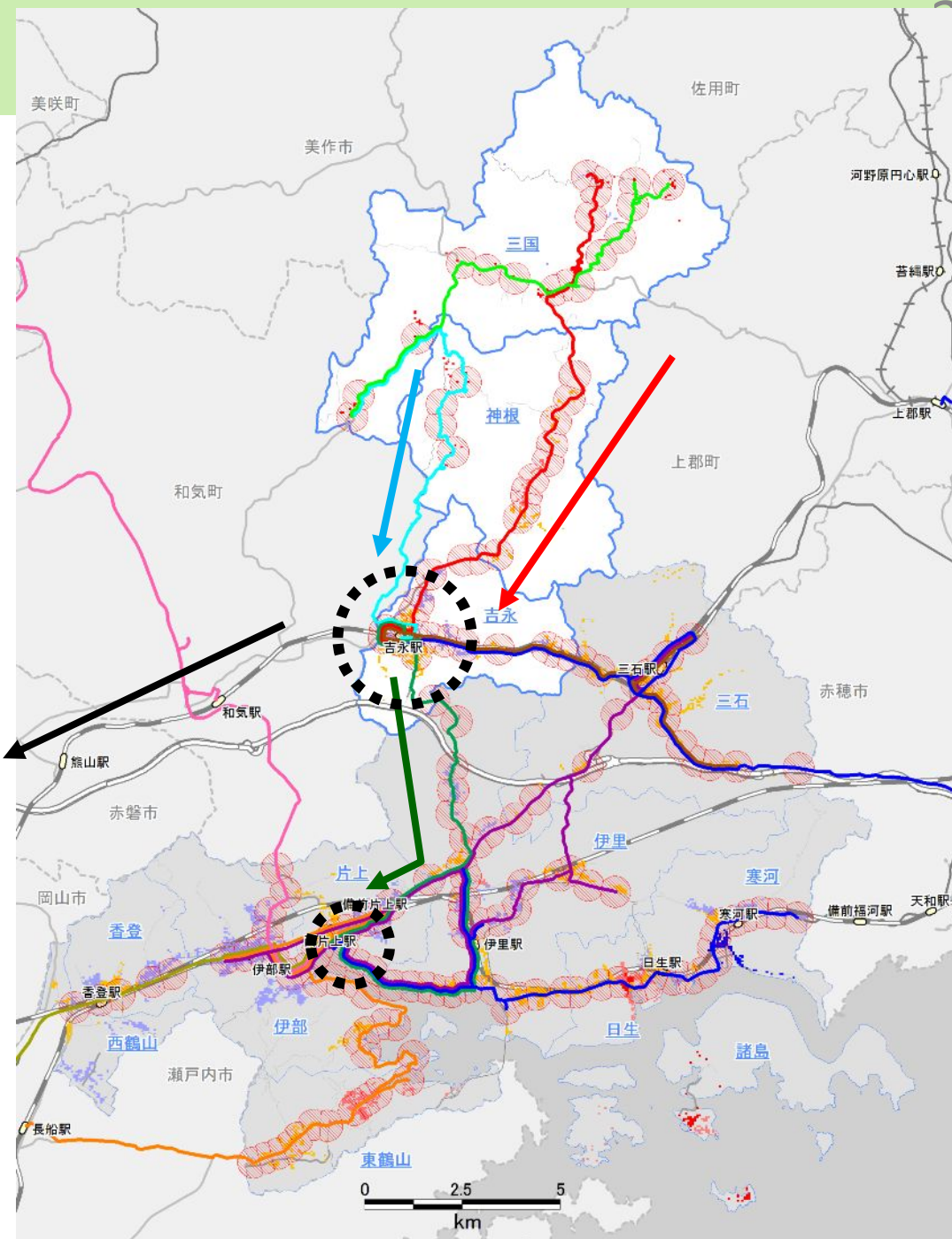
- ・ 高齢化率47%と高い
- ・ 分散して居住→バス停カバー率78%と低い  
(公共交通乗入の要望あり)
- ・ 和気や岡山、片上への移動ニーズ

## 神根

- ・ 高齢化率39%
- ・ 谷沿いに集落があるため、ほとんどが路線沿いに居住  
(バス停カバー率93.7%)
- ・ 和気や岡山、片上への移動ニーズ

## 吉永

- ・ 高齢化率28%
- ・ 買物目的で片上への移動ニーズ
- ・ 和気や岡山、片上への移動ニーズ



# 三国・神根・吉永

## 三国東西線

- ・スクールバスとしての運行に一般が混乗

## 八塔寺線

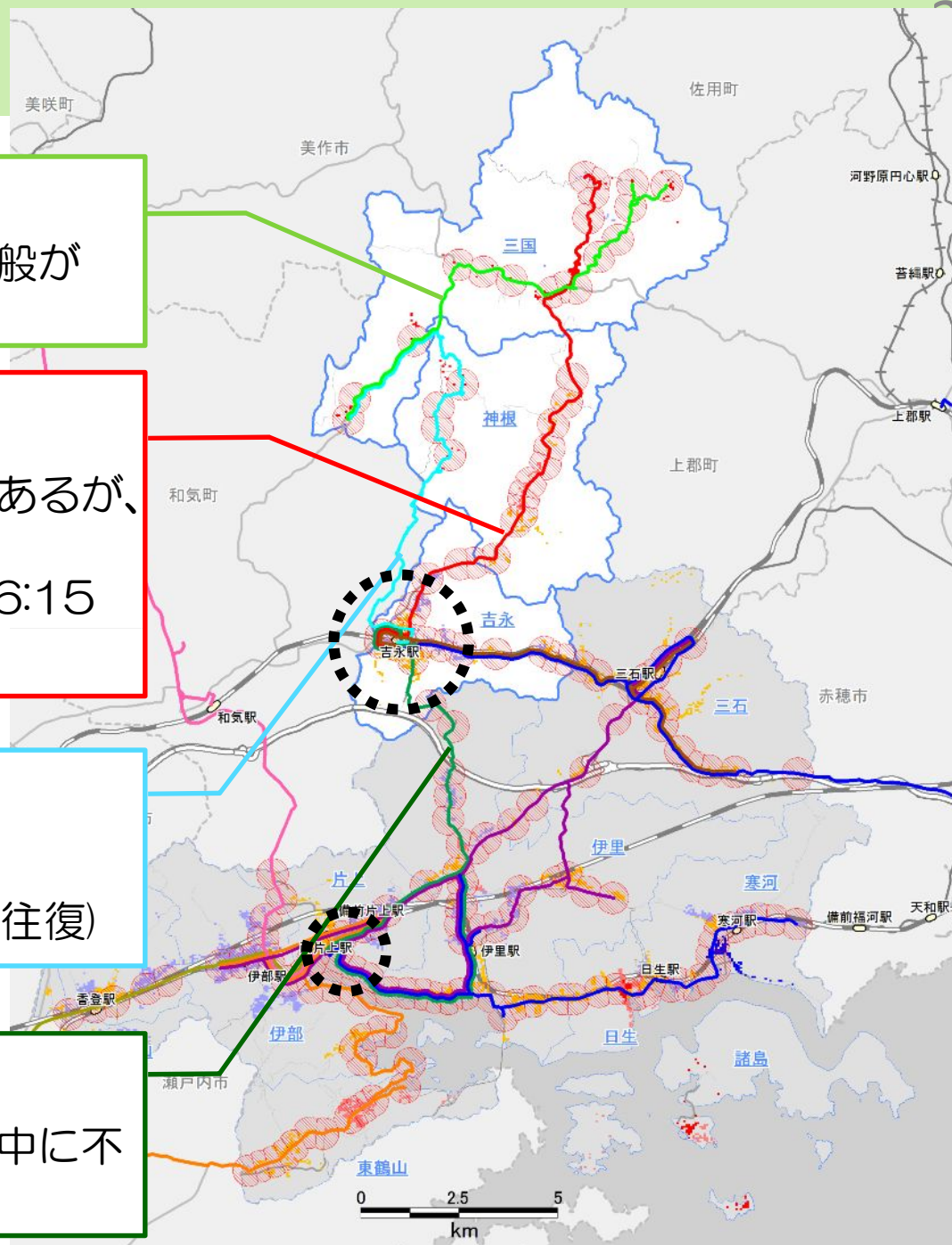
- ・午前中吉永病院行きの便が2本あるが、帰宅便は12:55と午後以降
- ・12:55吉永病院発を逃すと、16:15まで便がない

## 和意谷線

- ・スクール利用がなくなったため  
H22年より週2日の運行(1日2往復)

## 吉永線

- ・吉永から片上方面への便が午前中に不足



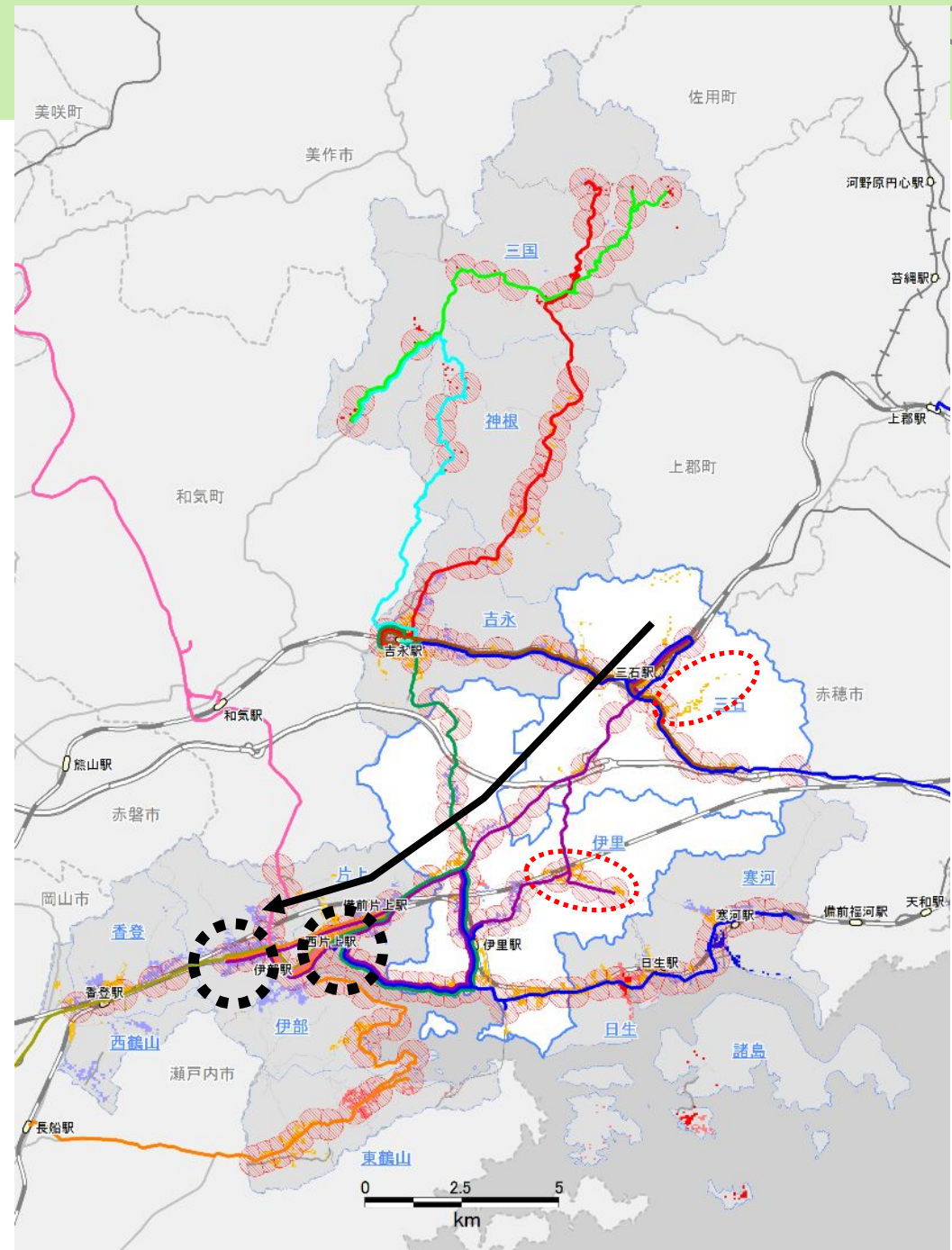
# 三石・伊里

## 三石

- 吉永、赤穂、伊部、片上、和気への移動ニーズ
- 圏域バスを利用して赤穂への移動が行われている
- 吉永へは福石線を利用
- 五石地区から公共交通乗り入れの要望
- 特に三石から伊部・片上に行く便が10~12時で不足

## 伊里

- 伊部、片上への移動ニーズ
- 佐那高下地区は高齢化率が高いが、朝の通院時間帯は空白



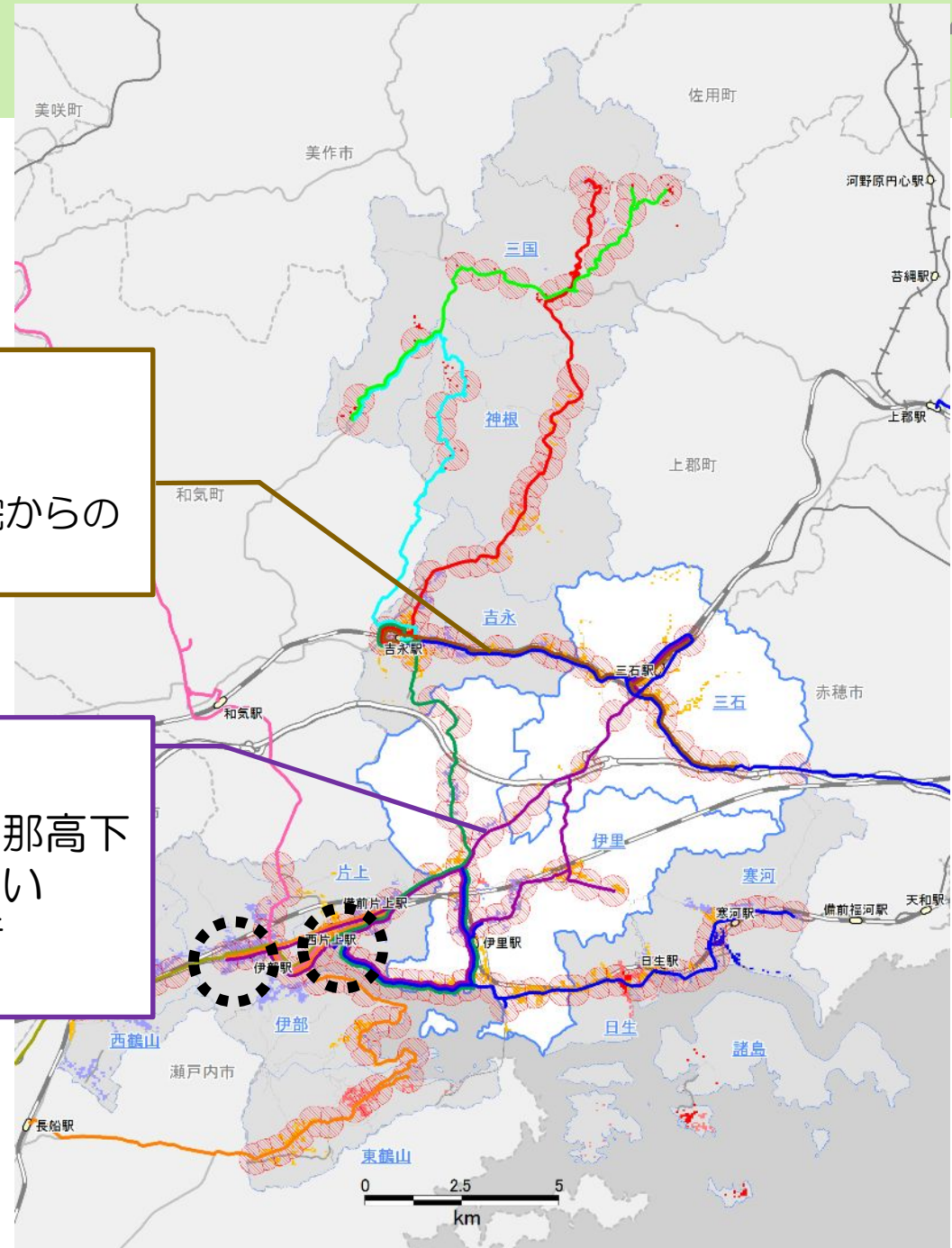
# 三石・伊里

## 福石線

- ・ 一日3往復の運行
- ・ 空白時間帯は圏域バスで、吉永病院からの帰宅利用などをカバー

## 三石線

- ・ 朝の通院時間帯に三石地区、佐那高下地区から備前病院行きの便がない
- ・ 特に佐那高下地区から備前病院に行く場合、片上で乗り換える必要



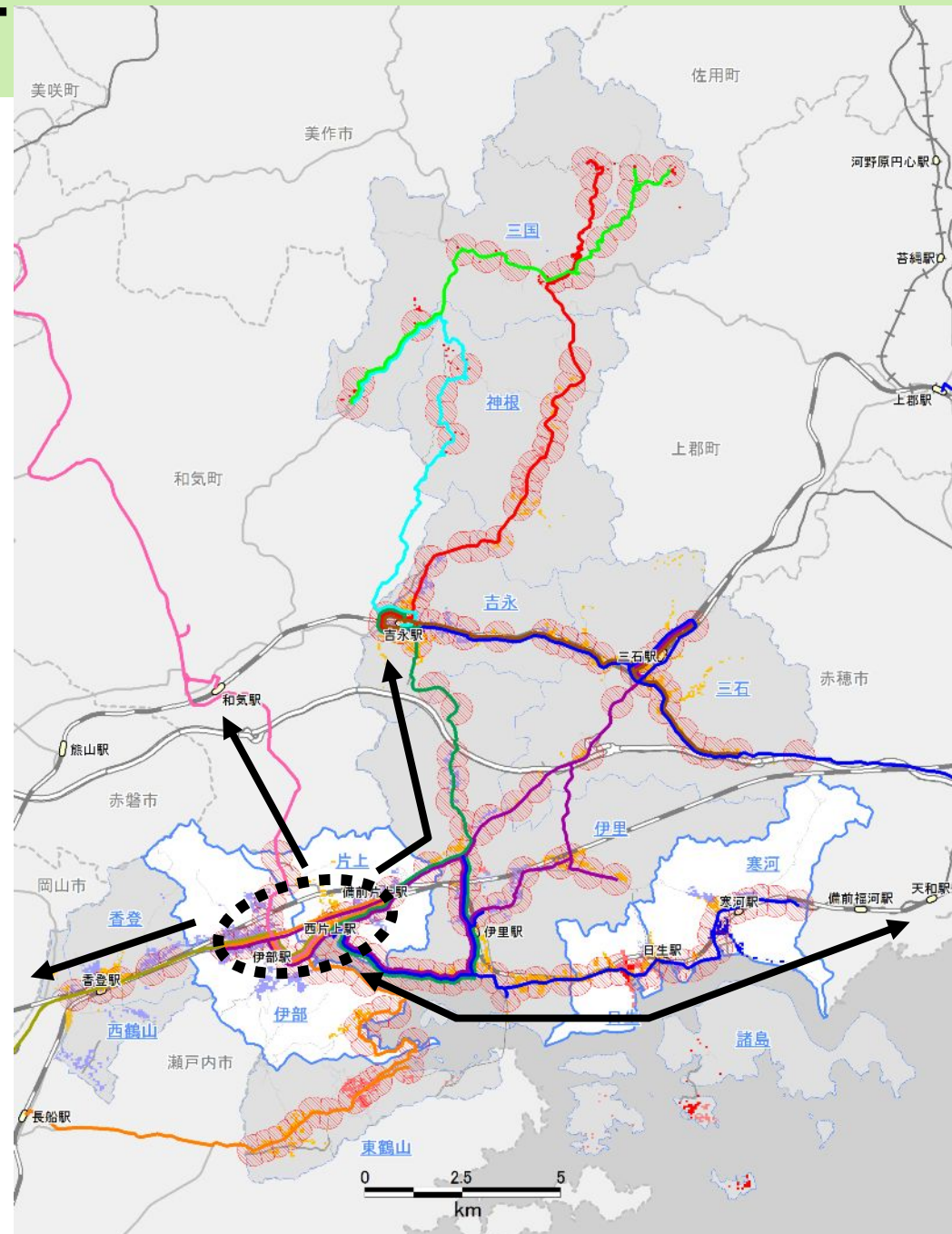
# 伊部・片上・日生・寒河

## 伊部・片上

- ・ 徒歩や自転車で移動できる範囲で通院・買物等が可能
- ・ 伊部・片上の地区内の他に岡山市や和気町、吉永への移動ニーズ

## 日生・寒河

- ・ 宇野バスが寒河まで運行していたため、バスとバスとの接続を改善することへの要望がある（伊部駅や備前病院に行くのに、片鉄片上で乗り換えが生じる）
- ・ 伊部・片上・伊里・赤穂市などへの移動ニーズ

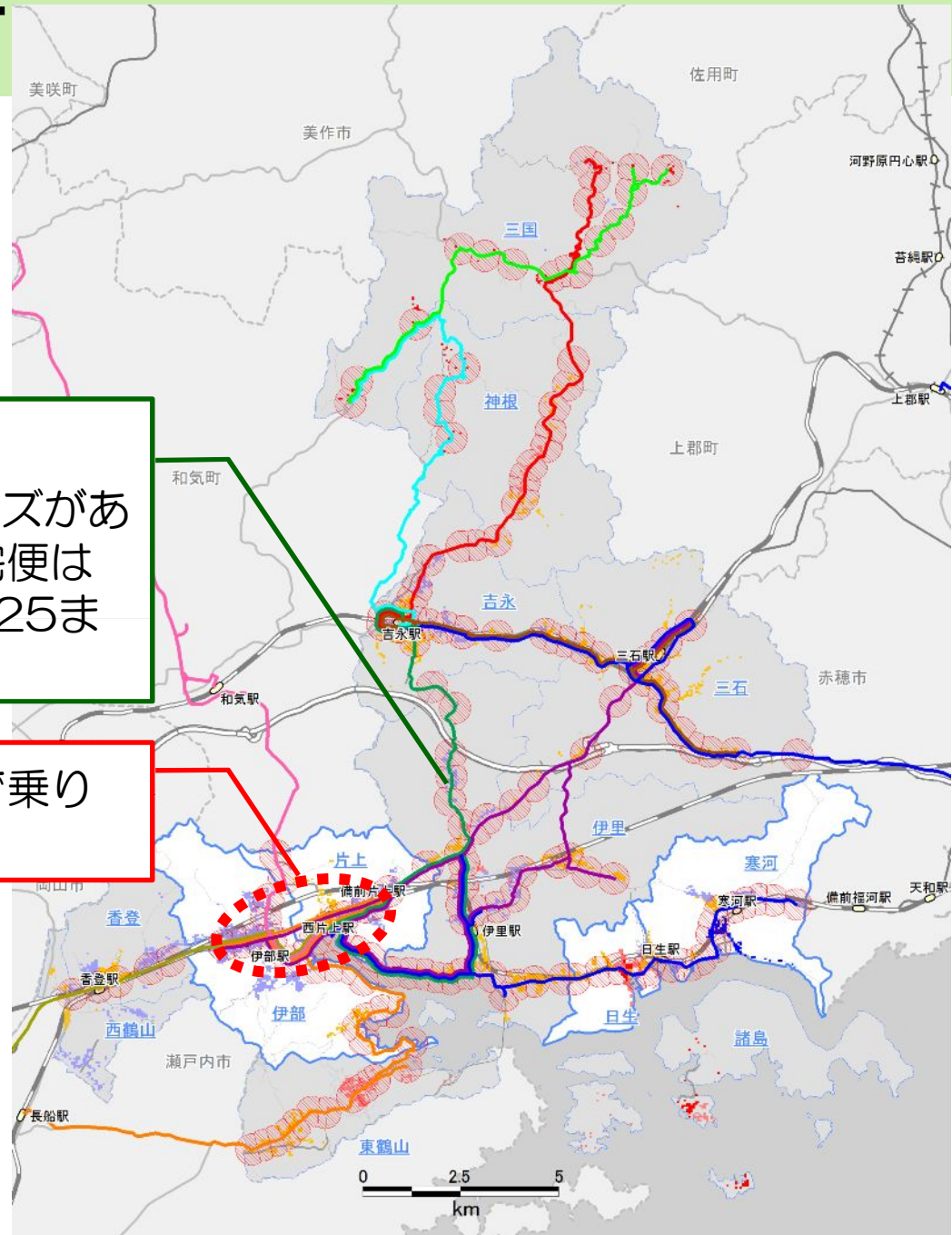


# 伊部・片上・日生・寒河

## 吉永線

- ・片上から吉永病院への移動ニーズがあるが（現在も利用あり）、帰宅便は10:25吉永病院発を逃すと15:25まで空白

備前病院と片鉄片上バス停間で乗り換えが生じている



# 香登・東鶴山・西鶴山

## 香登

- ・ 国道2号から離れた地区に居住し、バス停カバー率は66.3%と低い
- ・ 香登地区では宇野バスのみが運行している状況で、減便や国道2号のみの運行といった課題
- ・ 伊部、片上、瀬戸内市、岡山市

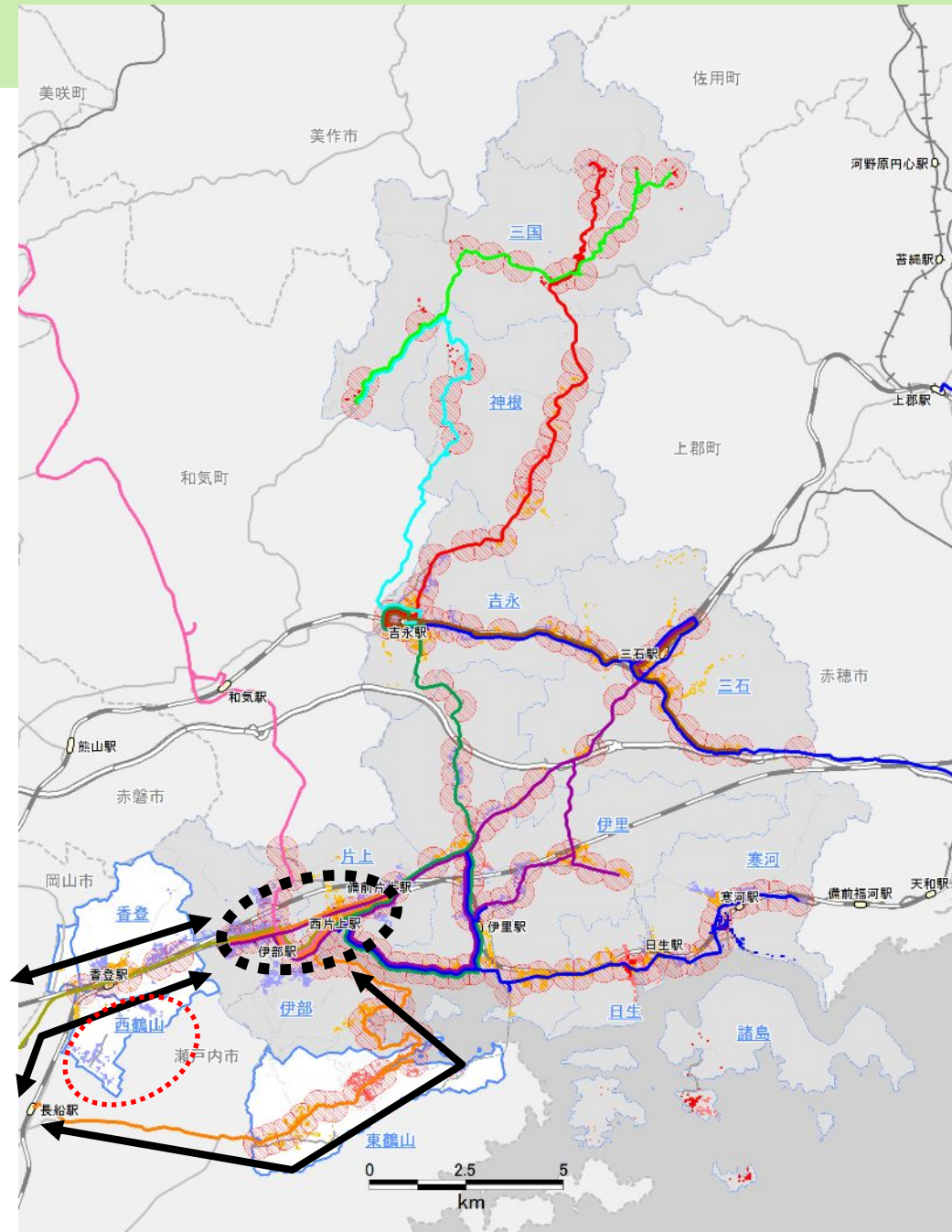
## 西鶴山

の移動ニーズ

- ・ バス停カバー率3.7%と極めて低い
- ・ 宇野バスが運行する国道2号まで遠いため、公共交通乗入の要望もあがっている
- ・ 伊部、片上、瀬戸内市、岡山市などへの移動ニーズ

## 東鶴山

- ・ 高齢化率40.5%と高い
- ・ 伊部、片上、瀬戸内市、岡山市などへの移動ニーズ





# 香登・東鶴山・西鶴山

## 宇野バス

- 利用者の少ない備前市内の区間を縮小し、経営の効率化を図っている
- 国道250号の渋滞により、15~30分程度の遅延も多い（バス事業者としても、時間がよめない状況）

## 東鶴山線

- 午前中に備前病院に行ける便が、9:24着の1本のみ
- 帰宅便は片鉄片上バス停で乗り換える必要
- 長船駅でJRとの接続が悪い
- 土日は2往復のみで、運動公園利用者などから増便の要望もあり（平日は6往復）

